

1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

Point

- ・子育てと仕事の両立の支援や、子育て支援施設等の整備
- ・小学校入学前のこどもの医療費の原則無料化

子どもを生き育てやすい環境づくり	—主要事業—	予算額（千円）
	ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業	12,500
	休日保育事業	8,259
	認可保育所整備促進事業	10,000
	私立保育所老朽改築費等補助	66,000
	母子保健対策	557,103
	乳幼児医療助成	2,589,705
	不妊治療支援事業	75,470
	周産期医療支援事業	5,700
	仮称）北区保育・子育て支援センター整備	15,000
	仮称）市立認定こども園整備	458,200
	福祉と多世代のふれあい公園づくり事業	48,200
	特定優良賃貸住宅供給事業	248,348

：新規事業、：レベルアップ事業

● 仕事と生活・子育ての両立を応援します

ワーク・ライフ・バランス取組企業応援事業

仕事と生活・子育てが両立できる職場環境づくりに取り組む企業のため、札幌市独自の認証制度を創設するとともに、希望する企業にアドバイザーを無料で派遣します。

また、一定の条件を満たす中小企業で、初めて育児休業者が出た場合や男性の育児参加休暇利用者が出た場合に助成金を交付します。



● 休日保育の充実

休日保育事業

認可保育所に通う児童の保護者が仕事などで日曜日や祝日に保育を必要とする場合のため、西区保育・子育て支援センターのほか、新たに豊平区保育・子育て支援センター（月寒東1条4丁目）で休日保育を実施します。

実施園 1か所→2か所

● 保育所定員390人増

私立保育所新築・改築費補助

20年第1回定例会市議会において、19年度補正予算案として提出予定

- 新築 1か所（定員 120人増）
- 改築 2か所（定員 60人増）
- 増築 2か所（定員 60人増）

認可保育所整備促進事業

新築 2か所（定員 120人増）
このほか（仮称）市立認定こども園整備による60人増と、廃園による30人減が見込まれます。



● 小学校入学前の子どもの医療費を原則無料化します

乳幼児医療助成

乳幼児医療費助成について、現在 1 割負担となっている市民税課税世帯における 4 歳以上の子どもの通院にかかる費用を原則無料化（H20.8 月受診分より実施予定）します。これにより、小学校入学前の子どもの医療費が原則無料化となります。

子どもの健康支援



● 妊婦の救急時のスムーズな受入れのために

周産期医療支援事業

ハイリスクを抱える救急時の妊婦について、医療機関の受入れがスムーズに行われるために、産科救急医療機関についての情報収集体制を整備するほか、安心して子どもを生むための知識や情報を若い世代に理解してもらうよう普及・啓発を行います。



● 老朽保育所の改築等

私立保育所老朽改築費等補助

老朽化が著しい私立保育所が、入所児童の安全確保や保育環境の改善のために、改築や大規模修繕を行う場合の補助制度を創設します。



● 子育て支援の拠点を充実します

仮称）北区保育・子育て支援センター整備

区における子育て支援の中心的な役割を担う区保育・子育て支援センターを、市営住宅幌北団地の建替えにあわせて北区に合築整備するための実施設計に着手します。開園は 24 年春の予定です。

仮称）市立認定こども園整備

幼稚園と区保育・子育て支援センターを併設し、教育・保育の一体的提供と子育ての支援を行う（仮称）市立認定こども園を整備します。開園は 21 年春の予定です。

<概要> 清）真栄 2 条 1 丁目（現しんえい幼稚園）
R C 造 2 階建
延床面積 1,242 m²
定員 115 名（幼稚園 55 名、保育所 60 名）



（仮称）市立認定こども園の子育て支援スペースの暖房は環境にやさしい地中熱利用ヒートポンプを活用します。

● バリアフリー公園の整備

福祉と多世代のふれあい公園づくり事業

障がいのある人たちが健康な人たちが公園を介して共に楽しく遊べることを目指して、地域との協働による既設公園の再整備を行うほか、乳幼児を対象としたキッズコーナーを 5 か所の公園に設置するための設計を行います。

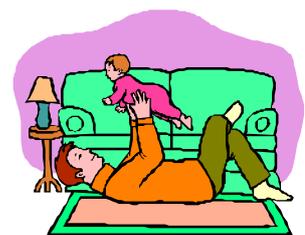
白石東公園を予定



● 子育て家庭の住まいを支援します

特定優良賃貸住宅供給事業

子育て世帯に対する経済的負担を軽減するため、公的賃貸住宅の一つである特定優良賃貸住宅を活用して、中学校卒業前の子どもがいる世帯に対する家賃の補助を拡大し、子育てしやすい良質な賃貸住宅を提供します。



1 子どもを生き育てやすく、健やかにはぐくむ街

Point

- ・ 修学困難な生徒・学生に対する学習機会の拡充や特別支援教育の充実
- ・ 子どもの放課後の居場所や創造的体験等の機会を充実

未来を担う
子どもが
健やかに育つ
環境の充実

外国語指導助手関係	240,175
小学校・中学校改築	2,547,000
札幌市立大学大学院設置支援事業	96,000
奨学金支給	50,001
幼児教育センター関係事業	13,000
児童家庭支援センター運営費補助等	20,830
スクールカウンセラー活用事業	206,490
特別支援教育支援員活用事業	48,600
特別支援学校増築	289,800
子どもの美術体験事業費補助	2,000
佐藤忠良関連施設整備	236,200
児童会館運営管理	2,265,785
児童会館改築	132,100
ミニ児童会館施設設備整備	96,000
放課後子ども教室推進モデル事業	12,849

：新規事業、：レベルアップ事業

英語を学ぼう話そう

外国語指導助手関係

市立中学校・高校生徒の英語によるコミュニケーション能力育成強化のために、外国語指導助手(A L T)を増員します。

43人 **48人**



学校改築による学習環境の充実

小学校・中学校改築

老朽化した北郷小学校の改築工事のほか、平岸西小学校の改築に向けた実施設計を行います。

新校舎は、バリアフリー化を図るとともに、外断熱工法を採用するなど、施設の長寿命化や環境に配慮して整備を進めます。



<p>北郷小学校</p> <p>敷地：白石区北郷4条5丁目 校舎：RC造4階建 延床面積 9,153 m²</p> <p>平成 21 年 3 月新校舎竣工予定</p>	<p>平岸西小学校</p> <p>敷地：豊平区平岸1条15丁目 校舎：RC造4階建 延床面積 6,807 m²</p> <p>平成 22 年 3 月新校舎竣工予定</p>
---	---

● 札幌市立大学に大学院を設置

札幌市立大学大学院設置支援事業

デザイン系と看護系の大学院設置を目指す札幌市立大学を支援するため、キャンパス増築の基本設計に必要な費用を支援します。

H22開学予定

● 奨学金の対象の倍増に向けて

奨学金支給

経済的理由により修学困難な学生又は生徒に対する奨学金について、「定時制・障がい」枠を新設すると共に、支給枠を平成22年度までに現在の倍の1,000人に向けて拡充を図ります。



175人分増

● 幼児教育の水準向上のために

幼児教育センター関係事業

市全体の幼児教育の水準向上を図るため、(仮称)幼児教育センターを教育センター(ちえりあ内)に設置し、公私連携事業や地域教育相談など各種事業を実施します。



● いじめの根絶を目指します

スクールカウンセラー活用事業

スクールカウンセラーの派遣時間を拡大し、いじめや不登校など様々な悩みを抱えている子どもの相談体制の充実を図ります。

小学校月2時間→4時間、中学校週6時間→8時間

● 特別な支援が必要な子どもの学校生活を支えます

特別支援教育支援員活用事業

通常の学級に在籍する発達障がいなどの特別な支援を必要とする子どもに学習活動上の支援などを行うため、特別支援教育支援員(学びのサポーター)を導入します。



120校に導入

● 中高生が利用できる児童会館を増やします

児童会館運営管理(中高生利用促進)

中高生の居場所と活動の場として、夜間利用が可能な児童会館を、新たに20館増やし、計60館に拡充します。

H18;20館 H19;40館 **H20;60館**

● 放課後の居場所も小学校

ミニ児童会館施設整備

豊明高等養護学校の志願者の増加を受け、定員増を行うため、校舎の増築及び改修を行います。

子どもの放課後の居場所を確保するために、余裕教室のない小学校の増築を含めて、6校にミニ児童会館を整備します。

51か所 57か所

放課後子ども教室推進モデル事業

小規模校など、ミニ児童会館の整備が困難な小学校において、PTAを中心とした地域の団体等と協力して、教室等を活用した放課後の居場所づくりのモデル事業を実施します。

● 子どもが美術体験する機会を創出します

佐藤忠良関連施設整備費

「佐藤忠良と子どもの世界」をテーマとした札幌市独自の体験型ギャラリー施設を芸術の森野外美術館敷地内にオープンします。

平成20年秋オープン

<概要>

- ・南) 芸術の森野外美術館内
- ・木造平家建 330㎡

子どもの美術体験事業費補助

小学校にアーティストを派遣したり、小学生を美術館に招待するための支援を行います。

1,000人を招待

